



35～54 歳の結婚意識に関する調査

株式会社明治安田生活福祉研究所（社長 木島 正博）は、2017 年 5 月に、全国の 35～54 歳の男女 10,300 人を対象に、「35～54 歳の結婚意識に関する調査」を実施しました。

本リリースでは、30 代後半から 50 代前半世代の、結婚への意識と実態について、調査で明らかになった最新の状況をご紹介します。

< 主 な 内 容 >

○あえて結婚していない理由 「もともと結婚を望んでいない」 男性 5人に2人 女性 3人に1人 （7ページ）	○結婚したいものの現在独身でいる理由 男性「家族を養うほどの収入がない」 3割 女性「希望の条件を満たす異性に巡り合わない」 4割 （8ページ）	○一生独身でいることを決意・覚悟した理由 「結婚に向いていない」 男性4割・女性3割 （9ページ）
○45歳以上でやっぱり結婚したいと思うようになった理由 「老後1人で生活することへの不安」 男性4割・女性5割 （10ページ）	○これまでに経験した結婚のチャンスが「0」回 未婚男性の6割 未婚女性の4割 （11ページ）	○理想・条件を下げておくべきだったと考える年齢 男性 30代前半 女性 20代後半～30代前半 （24ページ）
○結婚相手として希望する相手の年齢 男性「自分よりも年下」 女性「自分と同年齢層」 （25ページ）	○結婚相手に求める理想・条件を下げた年齢 男性4割 30代前半 女性4割 20代後半 （30ページ）	○理想・条件を下げて後悔している 50代前半既婚者 男性4割・女性6割 （31ページ）

ご照会先	㈱明治安田生活福祉研究所 生活設計研究部 力石(チカライシ)・内匠(ウチノツクリ) 瀬在(セザイ)・木下川(キノカワ)	本調査内容の引用・転載をご希望の場合は、下記までご連絡いただきますようお願いいたします。 電 話：03(6261)6411 FAX：03(3511)3200 Eメール：chikaraishi@myilw.co.jp
-------------	--	---

＜ 調査の概要 ＞

(1) 調査対象： 全国の 35～54 歳の男女

(2) 調査方法： インターネット（P Cおよびスマートフォン・タブレット等）

(3) 調査時期： 2017 年 5 月 18 日～5 月 20 日

(4) 回 収 数： 10,300 人 ※セル毎の回収数は「(5) 回収サンプル内訳」参照

(5) 回収サンプル内訳

【セル毎のサンプル数】

		未婚者	既婚者	計
35～39歳	男性	927	618	1,545
	女性	927	618	1,545
40～44歳	男性	927	618	1,545
	女性	927	618	1,545
45～49歳	男性	515	515	1,030
	女性	515	515	1,030
50～54歳	男性	515	515	1,030
	女性	515	515	1,030
計		5,768	4,532	10,300

(6) 人口補正後のサンプル内訳

本調査では、(5)の内訳で計 10,300 人からアンケートを回収し、総務省「平成 27 年国勢調査」の性・年齢階級・配偶状況別の人口構成比に合わせて、下記内訳のサンプル数への補正を行なっています。

なお、本リリースでは補正後のデータを使用しています。本文中の各図表の全体 n の数値が、構成項目の n の合計値と一致しないことがあります。

【セル毎のサンプル数】(補正後)

		未婚者	既婚者	計
35～39歳	男性	467	824	1,291
	女性	317	926	1,243
40～44歳	男性	470	1,026	1,496
	女性	301	1,120	1,421
45～49歳	男性	360	946	1,306
	女性	226	1,016	1,241(注)
50～54歳	男性	266	914	1,180
	女性	154	968	1,122
計		2,561	7,740	10,300

(注) 補正後のサンプル数は、小数点第一位を四捨五入しているため、合計値は必ずしも一致しません。

<目 次>

I. 35～54 歳の未婚者にたずねた未婚の理由

1. 結婚していないことへの意識..... 6 ページ
 - ◎35～54 歳の未婚者のうち、2 人に 1 人が「あえて結婚していない」
 - ◎あえて結婚していない理由
 - 「もともと結婚を望んでいない」 男性 5 人に 2 人・女性 3 人に 1 人
 - ◎結婚したいものの現在独身でいる理由
 - 男性「家族を養うほどの収入がない」 3 割
 - 女性「希望の条件を満たす異性に巡り合わない」 4 割
2. 一生独身でいることの決意・覚悟と揺れる気持ち 9 ページ
 - ◎一生独身でいることを決意・覚悟した理由
 - 「結婚に向いていない」 男性 4 割・女性 3 割
 - ◎45 歳以上になってやっぱり結婚したいと思うようになった理由
 - 「老後 1 人で生活することへの不安」 男性 4 割・女性 5 割

II. 結婚のチャンスと恋愛・婚活

1. 結婚のチャンス..... 11 ページ
 - ◎これまでに経験した結婚のチャンス
 - 未婚男性の 6 割・未婚女性の 4 割が「0 回」
2. 恋愛についての意識..... 13 ページ
 - ◎30 歳当時の恋愛・男女交際へのスタンス
 - 「恋愛・男女交際に積極・能動的」な既婚男性の割合は、未婚男性の 2 倍以上
 - ◎恋人が欲しくない理由「結婚したいとは思わない」 未婚男性 4 割・未婚女性 3 割
 - ◎恋人として深い付き合いをすることが面倒な理由は「自分の時間がなくなる」
3. 婚活の実態 17 ページ
 - ◎「婚活経験なし」の既婚者は男女ともに 8 割、未婚者は男性 8 割・女性 7 割
 - ◎既婚者が実際に経験した婚活
 - 30 代後半 男性「友人に紹介を依頼」・女性「婚活パーティ」
 - 50 代前半 男女ともに「お見合い」
 - ◎婚活を始めるのは早いほうが結婚につながる？
 - 既婚の男性 5 割・女性 7 割が 30 歳までに婚活をスタート

Ⅲ. 結婚に対する理想と条件

1. 結婚に対する気持ち 22 ページ
◎結婚をあきらめているのは、40 代後半以上の男性 4 割・40 代前半以上の女性 4 割
2. 結婚への理想・条件 23 ページ
◎理想・条件を下げるくらいなら結婚したくない理由
「どうせ下げるくらいなら、もっと若い頃に」 4 割
「自分に見合う異性でないと納得できないから」 3 割
◎「理想・条件を下げてでもとにかく結婚したい人」が、下げておくべきだったと考える年齢
男性 30 代前半・女性 20 代後半～30 代前半
3. 結婚相手として希望する相手の年齢 25 ページ
◎男性は自分よりも年下の結婚相手を希望、女性の 5～6 割は自分と同年齢層を希望
4. 結婚相手に求める年齢以外の外面的条件 26 ページ
◎未婚者が結婚相手に求める外面的条件 ～30 歳当時と現在の理想の比較～
男性は「ルックス・見た目の印象」：30 歳当時は 6 割、現在は 5 割
女性は「収入等の経済力」：30 歳当時も現在も 7 割
◎女性が結婚相手に求める年収 ～30 歳当時と現在の理想の比較～
30 歳当時よりも現在のほうが「400 万円以上」の希望は多い

Ⅳ. 既婚者の考えた結婚の条件

1. 既婚者が最も妥協しなかった条件 29 ページ
◎結婚相手として最も妥協しなかった条件の 1 位は
男性は「ルックス・見た目」、女性は「収入等の経済力」
2. 理想・条件を下げた年齢と後悔の有無 30 ページ
◎結婚相手に求める理想・条件を下げた年齢
男性 4 割が「30 代前半」、女性 4 割が「20 代後半」
◎理想・条件を下げたことで後悔している 50 代前半は、男性 4 割・女性 6 割

I. 35～54 歳の未婚者にたずねた未婚の理由

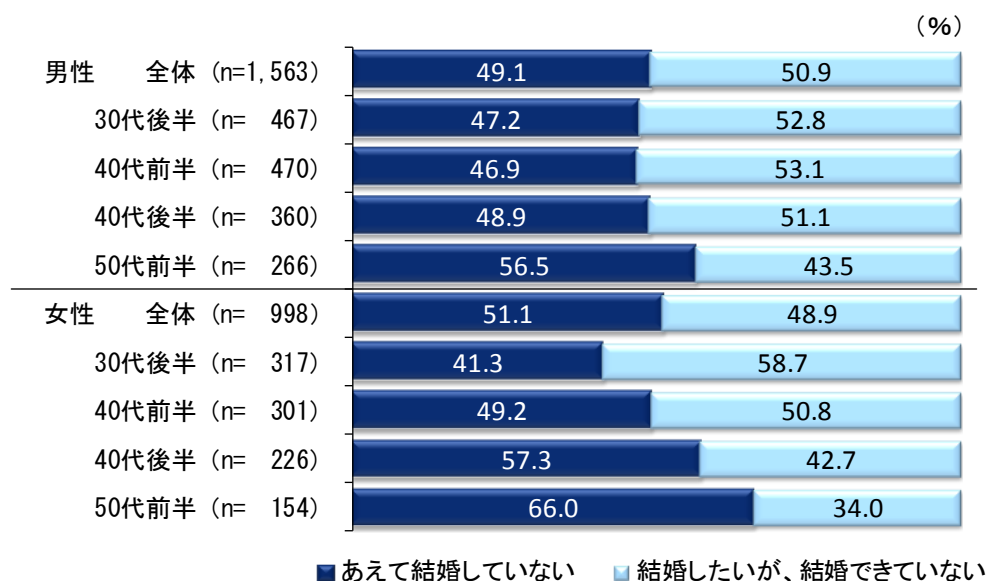
1. 結婚していないことへの意識

- ◎ 35～54 歳の未婚者のうち、2 人に 1 人が「あえて結婚していない」
- ◎ あえて結婚していない理由
「もともと結婚を望んでいない」 男性 5 人に 2 人・女性 3 人に 1 人
- ◎ 結婚したいものの現在独身でいる理由
男性「家族を養うほどの収入がない」 3 割
女性「希望の条件を満たす異性に巡り合わない」 4 割

➤ あえて結婚しないのか、結婚できないのか

35～54 歳の未婚者に対して、「あえて結婚していないのか、結婚したいができていないのか」をたずねたところ、「あえて結婚していない」と回答したのは約 2 人に 1 人で、年齢層別に見ると男性は 50 代前半が 56.5%と最も高くなっています。女性は年齢が高いほど、「あえて結婚していない」の割合が高く、50 代前半では 66.0%と 30 代後半の 41.3%より 24.7 ポイント高くなっています（図表 1）。

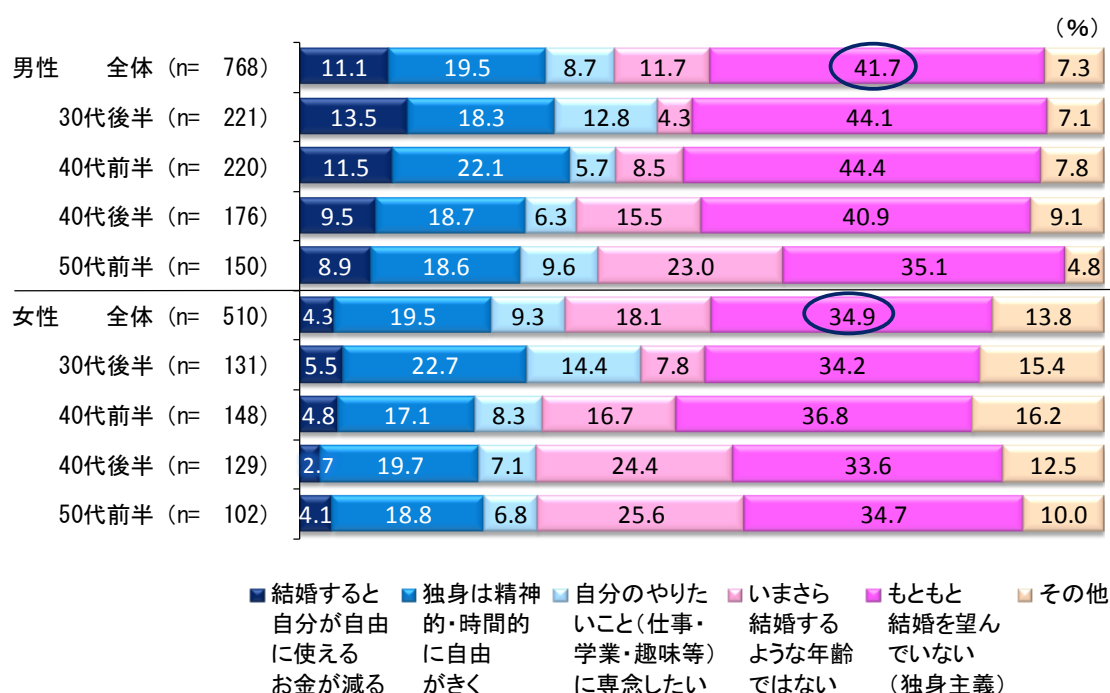
図表 1 あえて結婚していないのか、結婚したいができていないのか（35～54 歳の未婚者）



➤ あえて結婚していない理由

35～54歳の未婚者で「あえて結婚していない」と回答した人に対して、その理由をたずねたところ、各年齢層で最も割合が高かったのは「もともと結婚を望んでいない（独身主義）」で、男性約5人に2人（41.7%）・女性約3人に1人（34.9%）となっています。また、「独身は精神的・時間的に自由がきく」は、男女ともに各年齢層で約2割を占めています。男女とも年齢が高いほど「いまさら結婚するような年齢ではない」の割合が高くなっています（図表2）。

図表2 あえて結婚していない理由（あえて結婚していない35～54歳の未婚者）

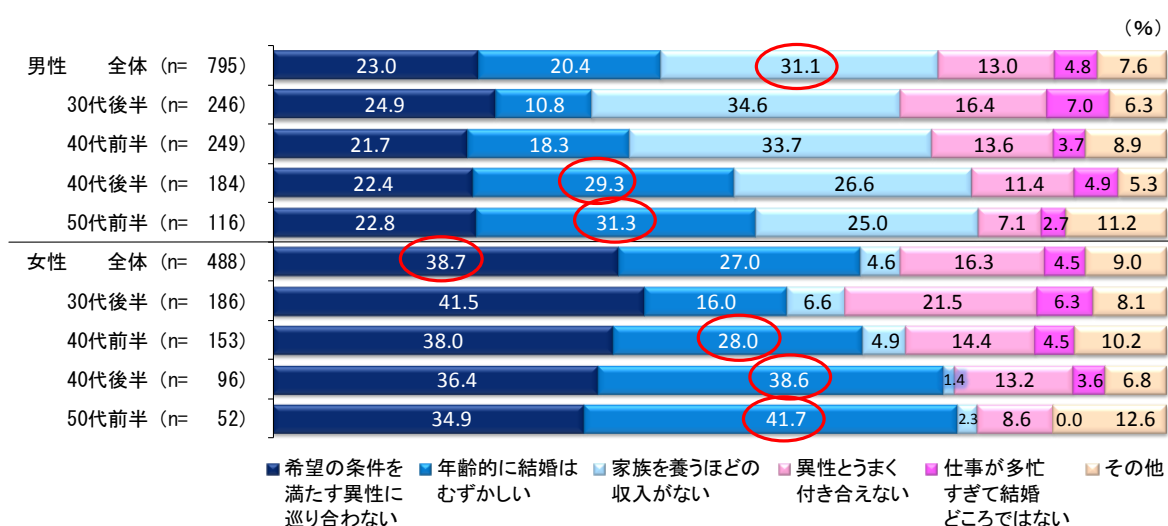


➤ 結婚したいものの現在独身でいる理由

35～54歳の未婚者で、「結婚したいが、結婚できていない」と回答した人に対して、その理由をたずねたところ、男性は「家族を養うほどの収入がない」(31.1%)、女性は「希望の条件を満たす異性に巡り合わない」(38.7%)が最も高くなりました。「希望の条件を満たす異性に巡り合わない」の割合は、男性が各年齢層で約2割であるのに対し、女性は約3～4割と男性に比べて高く、年齢が低いほど割合は高くなっています。

年齢層別に見ると、男女ともに40代後半・50代前半で最も高くなったのは「年齢的に結婚はむずかしい」でした。男性では40代後半以上で約3割となる一方で、女性は40代前半で約3割に達しており、男性に比べて「結婚はむずかしい」と感じる時期が早くなっています(図表3)。

図表3 現在独身でいる理由(結婚したいが、結婚できていない35～54歳の未婚者)



2. 一生独身でいることの決意・覚悟と揺れる気持ち

◎ 一生独身でいることを決意・覚悟した理由

「結婚に向いていない」男性4割・女性3割

◎ 45歳以上になってやっぱり結婚したいと思うようになった理由

「老後1人で生活することへの不安」男性4割・女性5割

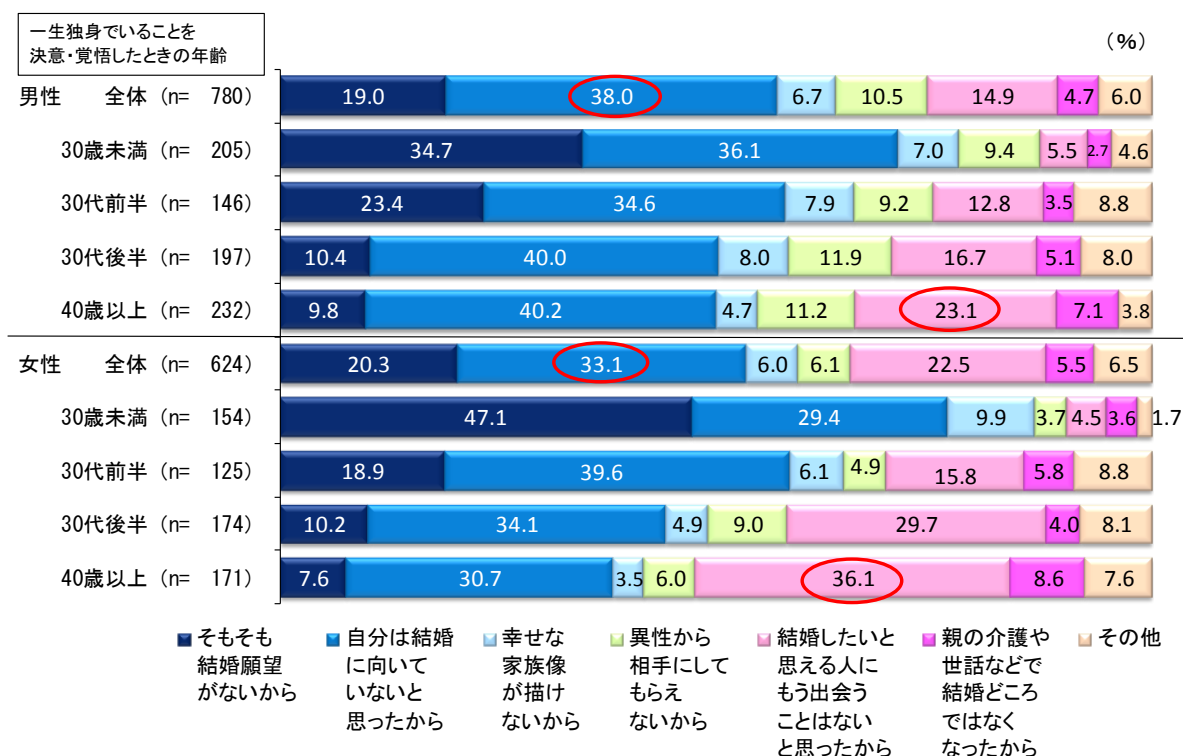
➤ 一生独身でいることを決意・覚悟した理由

「一生独身でいることを決意・覚悟したことがある」35～54歳の未婚者に対して、その理由をたずねたところ、男性は、「自分は結婚に向いていないと思ったから」が最も高く38.0%を占めています。また、「結婚したいと思う人にもう会えることはないと思ったから」は、一生独身でいることを決意・覚悟したときの年齢が高いほど高くなっています。

女性も男性同様、「自分は結婚に向いていないと思ったから」の割合が最も高く33.1%を占めています。また、「結婚したいと思う人にもう会えることはないと思ったから」の割合は男性よりも高くなっています（一生独身でいることを決意・覚悟したのが40歳以上である男性23.1%・女性36.1%）。

なお、男女とも「そもそも結婚願望がないから」の割合は、一生独身でいることを決意・覚悟したときの年齢が高いほど低くなっています（図表4）。

図表4 一生独身でいることを決意・覚悟した理由（一生独身でいることを決意・覚悟したことがある35～54歳の未婚者：一生独身でいることを決意・覚悟したときの年齢別）



➤ 独身の決意・覚悟をした後で、やっぱり結婚したいと思うようになった理由

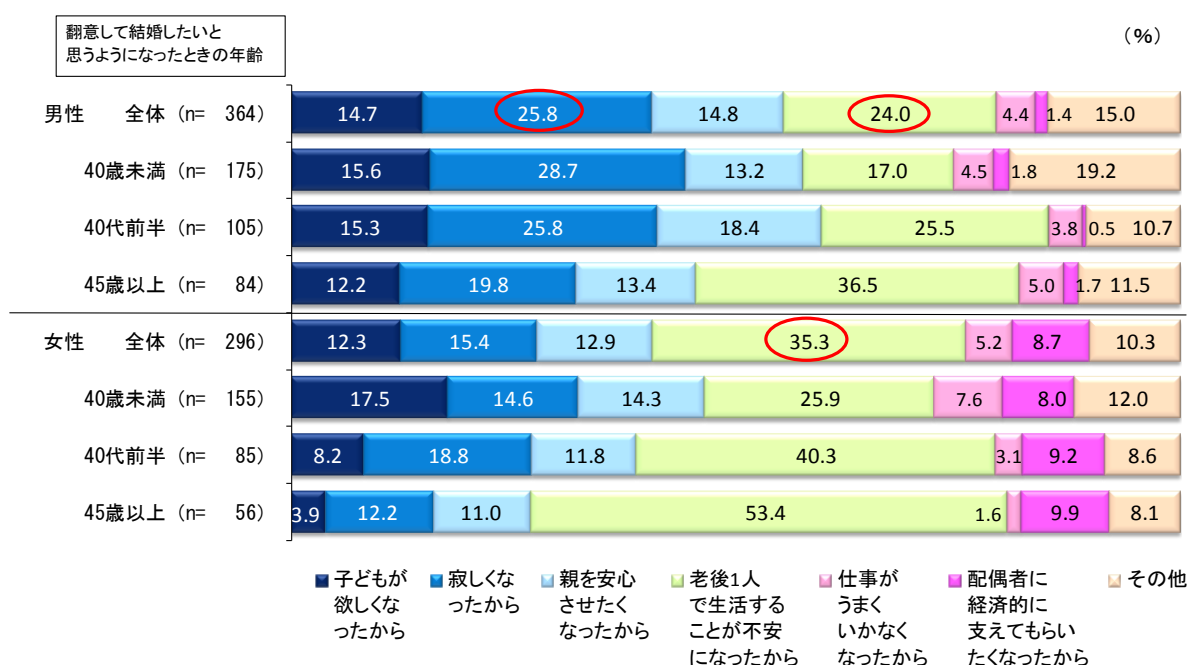
35～54歳の未婚者で、「一生独身でいることを決意・覚悟した後、結婚したいと思うようになったことがある」と回答した人に対して、翻意して結婚したいと思うようになった理由をたずねたところ、男性は、「寂しくなったから」が25.8%、「老後1人で生活することが不安になったから」が24.0%を占めました。

女性は、「老後1人で生活することが不安になったから」が最も割合が高く（35.3%）、結婚したいと思うようになったときの各年齢層で男性よりも高くなりました。老後1人で生活することへの不安は、女性のほうが男性よりも強い傾向にあるようです（図表5）。

図表5 一生独身でいることを決意・覚悟した後、結婚したいと思うようになった理由

（一生独身でいることを決意・覚悟した後、結婚したいと思うようになった

35～54歳の未婚者：結婚したいと思うようになったときの年齢別）



Ⅱ. 結婚のチャンスと恋愛・婚活

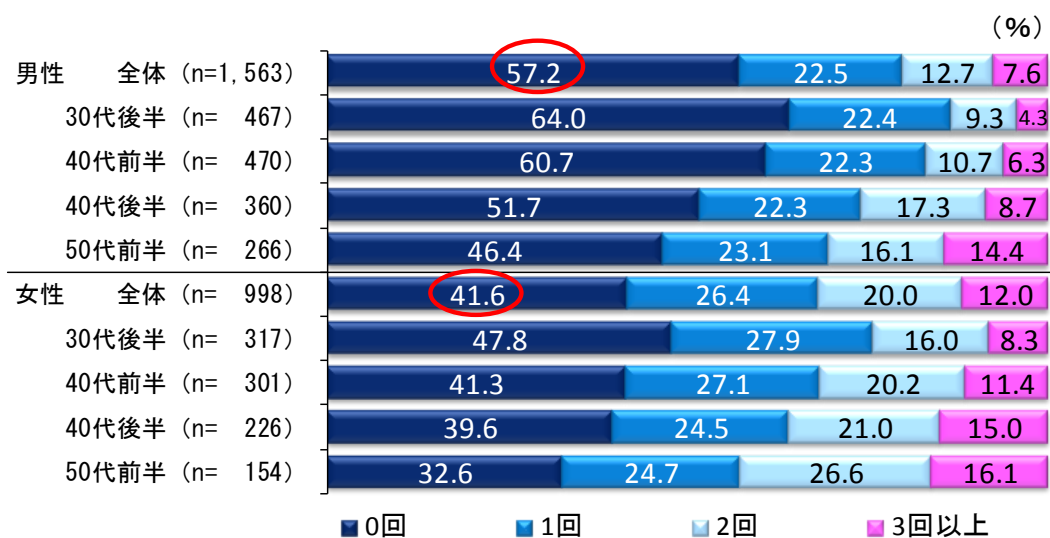
1. 結婚のチャンス

◎ これまでに経験した結婚のチャンス
未婚男性の6割・未婚女性の4割が「0回」

➤ 結婚のチャンスは何回あったか

35～54歳の未婚者に対して、これまでに結婚のチャンスは何回あったかたずねたところ、「0回」の割合は、男性約6割・女性約4割となっています。年齢層別に見ると男女とも年齢が低いほど「0回」の割合は高くなっています（図表6）。

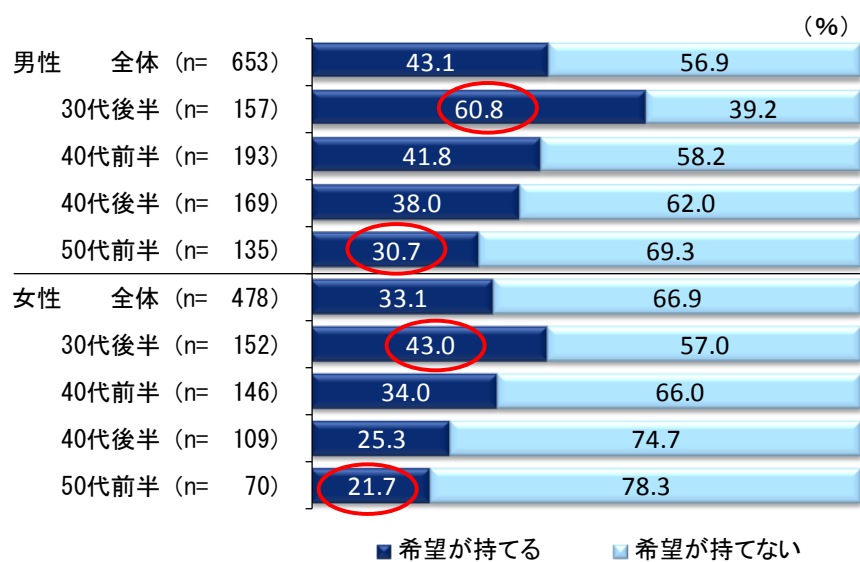
図表6 これまでに結婚のチャンスは何回あったか（35～54歳の未婚者）



➤ **結婚に希望が持てるか 30 歳当時と現在の意識の違い**

30 歳当時、結婚に希望を持っていた 35～54 歳の未婚者に対して、「現在、結婚に希望が持てるかどうか」をたずねたところ、年齢が高いほど「現在も希望が持てる」と回答した割合は低くなっています。男性は、50 代前半が 30.7%と 30 代後半の 60.8%より 30.1 ポイント低く、女性は 50 代前半が 21.7%と 30 代後半の 43.0%より 21.3 ポイント低くなっています（図表 7）。

図表 7 現在、結婚に希望が持てるか（30 歳当時希望を持っていた 35～54 歳未婚者）



2. 恋愛についての意識

◎ 30 歳当時の恋愛・男女交際へのスタンス

「恋愛・男女交際に積極・能動的」な既婚男性の割合は、未婚男性の2倍以上

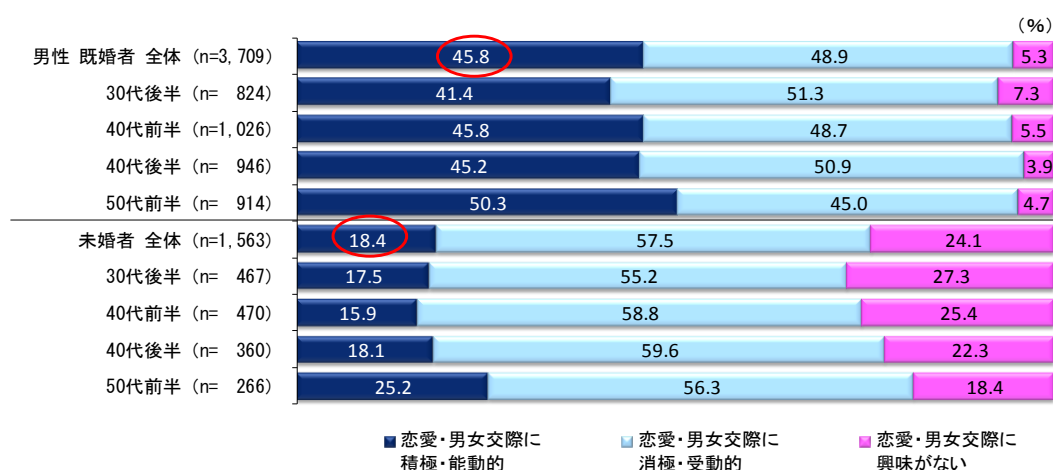
◎ 恋人が欲しくない理由「結婚したいとは思わない」未婚男性4割・未婚女性3割

◎ 恋人として深い付き合いをすることが面倒な理由は「自分の時間がなくなる」

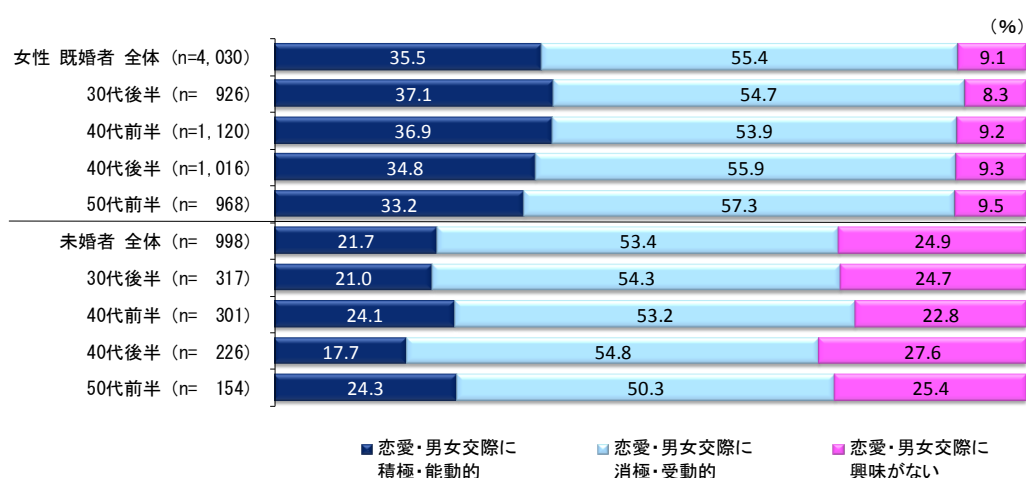
➤ 30 歳当時の恋愛・男女交際へのスタンス

35～54 歳の男女に、未既婚別で 30 歳当時の自身の恋愛・男女交際へのスタンスをたずねたところ、「恋愛・男女交際に積極・能動的」の割合は、男女とも未婚者よりも既婚者のほうが高くなりました。特に男性の場合、既婚者の 45.8%が「30 歳当時、恋愛・男女交際に積極・能動的だった」と回答しているのに対し、未婚者では 18.4%と 27.4 ポイントの差があります（図表 8・9）。

図表 8 30 歳当時の恋愛・男女交際へのスタンス（35～54 歳の男性：未既婚別）



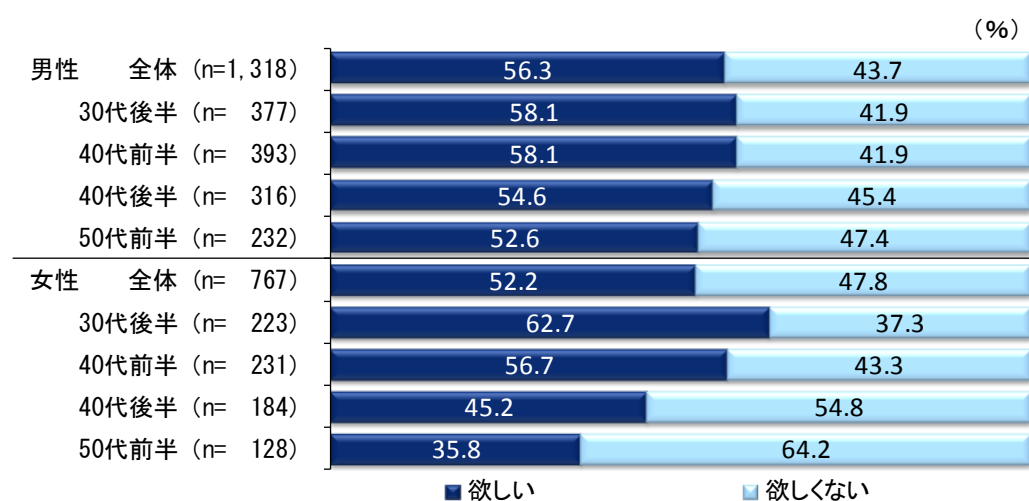
図表 9 30 歳当時の恋愛・男女交際へのスタンス（35～54 歳の女性：未既婚別）



➤ 恋人が欲しいか

恋人がいない 35～54 歳の未婚者に対して、恋人が欲しいかたずねたところ、「欲しい」と回答した割合は、男性 56.3%・女性 52.2%となりました。また、男女とも年齢が高いほど「欲しい」と回答した割合は低くなっており、特にこの傾向は女性で顕著です。男性の場合、30 代後半 58.1%から 50 代前半では 52.6%と 5.5 ポイント低くなっているのに対して、女性の場合は 30 代後半 62.7%から 50 代前半 35.8%と、26.9 ポイント低くなっています（図表 10）。

図表 10 恋人が欲しいか（恋人がいない 35～54 歳の未婚者）

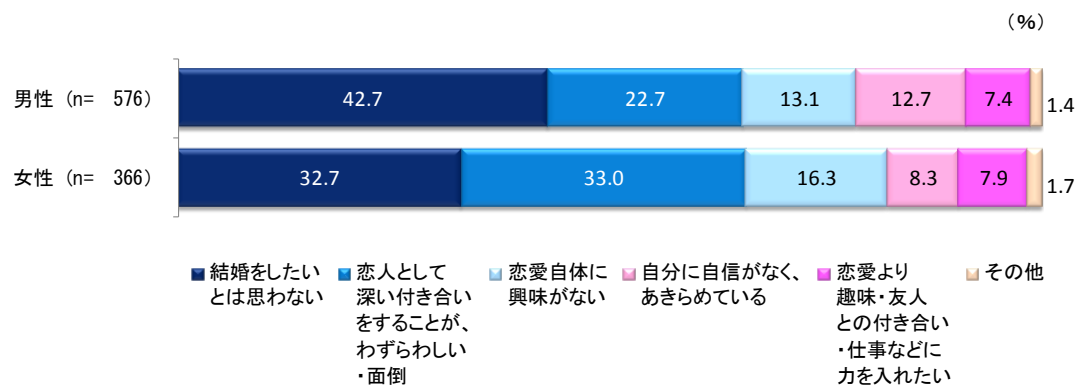


➤ **恋人が欲しくない理由として「結婚をしたいとは思わない」が未婚男性で4割**

現在恋人がおらず「恋人が欲しくない」という 35～54 歳の未婚者に対して、恋人が欲しくない理由をたずねたところ、男性では「結婚をしたいとは思わない」が 42.7%と最も高く、次いで「恋人として深い付き合いをすることが、わずらわしい・面倒」が 22.7%と続きます。

一方、女性では「恋人として深い付き合いをすることが、わずらわしい・面倒」が 33.0%と最も高く、次いで「結婚をしたいとは思わない」も 32.7%とほぼ同水準となっています（図表 11）。

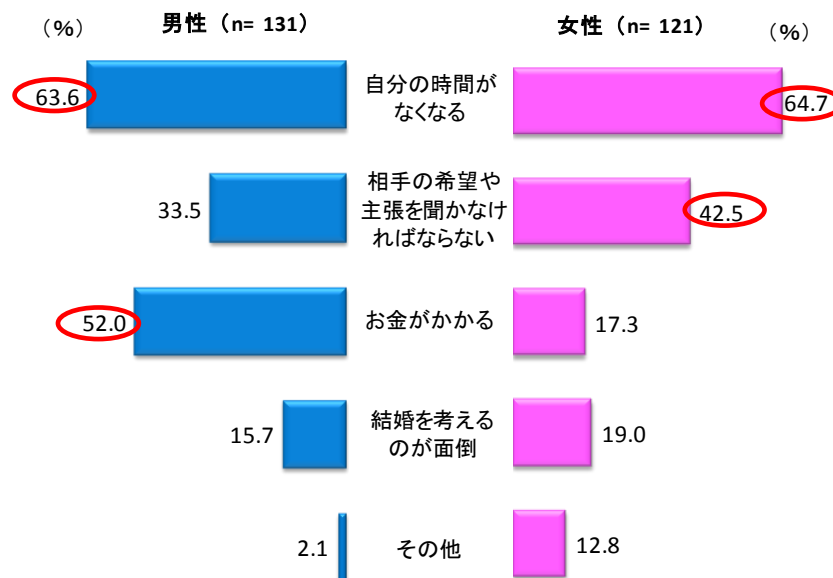
図表 11 恋人が欲しくない理由（恋人がおらず、恋人が欲しくない 35～54 歳の未婚者）



➤ 「恋人」が面倒な理由は「自分の時間がなくなる」が男女とも6割

現在恋人がいない35～54歳の未婚者で、恋人が欲しくない理由を「恋人として深い付き合いをすることが、わずらわしい・面倒」と回答した人に対して、さらにその理由をたずねたところ、男女ともに「自分の時間がなくなる」が最も高くなりました（男性63.6%・女性64.7%）。次に高かったのは、男性では「お金がかかる」52.0%、女性では「相手の希望や主張を聞かなければならない」が42.5%となっています（図表12）。

図表12 恋人として深い付き合いをすることがわずらわしい・面倒な理由（恋人がおらず、恋人として深い付き合いをすることがわずらわしい・面倒な35～54歳の未婚者：複数回答）



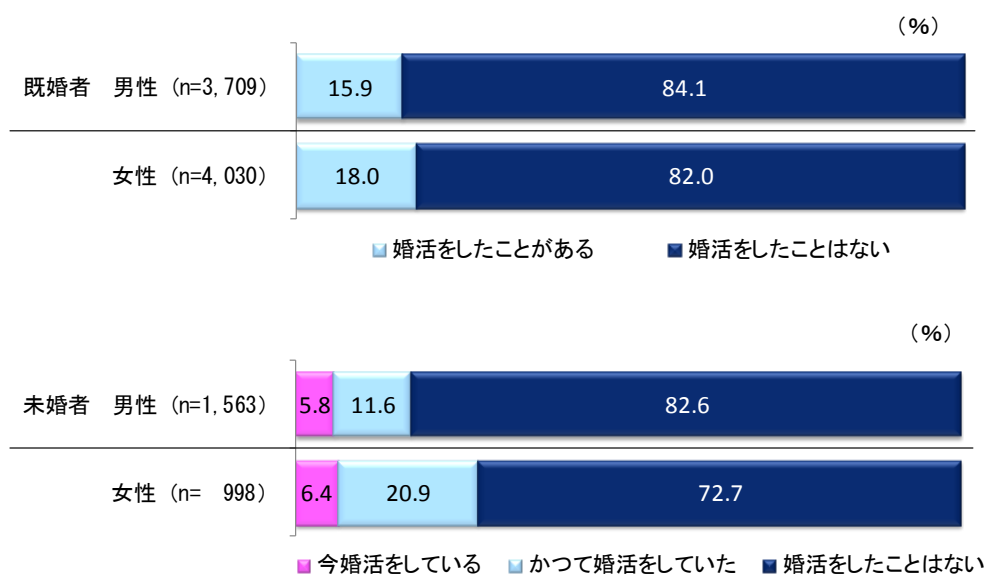
3. 婚活の実態

- ◎ 「婚活経験なし」の既婚者は男女ともに8割、未婚者は男性8割・女性7割
- ◎ 既婚者が実際に経験した婚活
 30代後半 男性「友人に紹介を依頼」・女性「婚活パーティ」
 50代前半 男女ともに「お見合い」
- ◎ 婚活を始めるのは早いほうが結婚につながる？
 既婚の男性5割・女性7割が30歳までに婚活をスタート

➤ 「婚活経験なし」の既婚者は男女ともに8割、未婚者は男性8割・女性7割

未既婚別に婚活の経験をたずねたところ、「婚活をしたことはない」と回答した男性は既婚者と未婚者いずれも約8割と同水準となりました（既婚男性84.1%・未婚男性82.6%）。一方で、「婚活をしたことはない」と回答した女性は、未婚者よりも既婚者のほうが9.3ポイント高くなっています（既婚女性82.0%・未婚女性72.7%）（図表13）。

図表13 婚活の経験（35～54歳：未既婚別）



➤ **結婚相手と出会うための活動のトップは、**

30代後半既婚者 男性「友人に紹介を依頼」・女性「婚活パーティ」

50代前半既婚者 男女ともに「お見合い」

未婚別、結婚相手と出会うためにどのような活動をしているか（したか）をたずねたところ、男性の場合、「友人に紹介を依頼」の割合が30代後半の既婚男性では41.7%と最も高く、他の年齢層でも約3割を占めました。また、既婚男性を年齢層別に見ると、「合コン」の割合が、30代後半（37.5%）・40代前半（32.5%）・40代後半（34.2%）に対し、50代前半では16.4%と低くなっています。一方で、50代前半では「お見合い」が28.8%で最も高く、結婚相手との出会いの場として約4人に1人がお見合いをしていたようです。未婚者の場合、「婚活パーティ」が30.4%と最も高く、次いで「友人に紹介を依頼」（28.7%）、「結婚相談所」（25.3%）が続きます。

女性の場合も、「友人に紹介を依頼」が30代後半の既婚女性では48.1%と約5割にのぼり、他の年齢層でも約4割を占めています。また、30代後半の既婚女性で最も高くなったのは「婚活パーティ」（52.8%）で約2人に1人の割合となりました。男性と同様に「合コン」の割合は30代後半（41.7%）・40代前半（43.1%）・40代後半（36.6%）と上位にランクインしているのに対して50代前半では上位には入っていませんでした（14.4%）。一方で、50代前半では「お見合い」が38.9%と最も高く、約5人に2人の割合でお見合いをしていたようです。また、未婚者の場合、「婚活パーティ」が45.4%と最も高く、次いで「友人に紹介を依頼」（35.4%）、「合コン」（32.5%）が続きます。「お見合い」は男女ともに、年齢が低くなるほど割合が低くなっています（図表14）。

図表 14 結婚相手と出会うための活動（35～54 歳：未既婚別：複数回答）

男性（n=863）（回答割合の多い順・上位）

既婚者 (n=591)	30代後半 (n=128)	友人に紹介を依頼 41.7%	合コン 37.5%	婚活パーティ 36.5%	結婚相談所 17.7%	街コン・イベント、 SNS 各12.5%
	40代前半 (n=194)	友人に紹介を依頼、 合コン、 婚活パーティ 各32.5%	結婚相談所 29.1%	親・親せきに 紹介を依頼 12.8%	学生時代(クラス・ サークル等)の知人 関係で探していた 12.0%	お見合い 11.1%
	40代後半 (n=140)	結婚相談所 35.5%	合コン 34.2%	婚活パーティ 32.9%	友人に紹介を依頼 26.3%	恋愛・婚活サイト 22.4%
	50代前半 (n=130)	お見合い 28.8%	友人に紹介を依頼、 結婚相談所 各27.4%	親・親せきに 紹介を依頼、 婚活パーティ 各24.7%	合コン 16.4%	職場の上司・同僚に 紹介を依頼、 職場で探していた 各11.0%
未婚者 (n=271)	全体	婚活パーティ 30.4%	友人に紹介を依頼 28.7%	結婚相談所 25.3%	合コン 23.1%	恋愛・婚活サイト 20.0%

女性（n=997）（回答割合の多い順・上位）

既婚者 (n=725)	30代後半 (n=162)	婚活パーティ 52.8%	友人に紹介を依頼 48.1%	合コン 41.7%	結婚相談所 20.4%	SNS 12.0%
	40代前半 (n=210)	友人に紹介を依頼、 合コン 各43.1%	婚活パーティ 41.4%	結婚相談所 21.6%	お見合い 19.0%	恋愛・婚活サイト 11.2%
	40代後半 (n=183)	友人に紹介を依頼、 合コン 各36.6%	婚活パーティ 32.3%	お見合い 29.0%	結婚相談所 18.3%	親・親せきに 紹介を依頼 12.9%
	50代前半 (n=169)	お見合い 38.9%	友人に紹介を依頼 37.8%	親・親せきに 紹介を依頼 32.2%	婚活パーティ 25.6%	結婚相談所 17.8%
未婚者 (n=273)	全体	婚活パーティ 45.4%	友人に紹介を依頼 35.4%	合コン 32.5%	結婚相談所 22.1%	お見合い 17.2%

➤ 結婚相手との出会いのキッカケ

既婚者に対して、現在の配偶者との出会いのキッカケをたずねたところ、男女ともに各年齢層で、「職場で知り合った」と回答した割合が最も高くなりました。続いて「友人からの紹介」、「学生時代（クラス・サークル等）の知人関係」の順番で男女とも各年齢層でランクインしています。

男性の場合、「職場で知り合った」と回答した割合は30代後半で28.0%であるのに対し、50代前半では35.1%と、7.1ポイント高くなっています。

また、この他に男女ともに上位にランクインしているのは「合コン」「SNS」「独身の異性がいる場所へ行った・参加した（ナンパ含む）」です（図表15）。

図表 15 結婚相手との出会いのキッカケ（35～54歳の既婚者）

男性（n=3,709）（回答割合の多い順・上位）

30代後半 (n=824)	職場で知り合った 28.0%	友人からの紹介 23.8%	学生時代 (クラス・サークル等) の知人関係 14.6%	合コン 8.4%	SNS 7.6%
40代前半 (n=1,026)	職場で知り合った 33.8%	友人からの紹介 21.4%	学生時代 (クラス・サークル等) の知人関係 10.8%	合コン 8.4%	SNS 4.9%
40代後半 (n=946)	職場で知り合った 33.2%	友人からの紹介 21.0%	学生時代 (クラス・サークル等) の知人関係 12.0%	独身の異性がいる場所 へ行った・参加した (ナンパ含む) 6.6%	合コン 5.6%
50代前半 (n=914)	職場で知り合った 35.1%	友人からの紹介 22.5%	学生時代 (クラス・サークル等) の知人関係 11.3%	独身の異性がいる場所 へ行った・参加した (ナンパ含む) 5.6%	合コン 5.0%

女性（n=4,030）（回答割合の多い順・上位）

30代後半 (n=926)	職場で知り合った 31.4%	友人からの紹介 22.3%	学生時代 (クラス・サークル等) の知人関係 12.9%	SNS 8.9%	合コン 7.3%
40代前半 (n=1,120)	職場で知り合った 36.6%	友人からの紹介 21.4%	学生時代 (クラス・サークル等) の知人関係 11.3%	合コン 6.6%	独身の異性がいる場所 へ行った・参加した (ナンパ含む) 5.3%
40代後半 (n=1,016)	職場で知り合った 34.8%	友人からの紹介 18.4%	学生時代 (クラス・サークル等) の知人関係 15.3%	独身の異性がいる場所 へ行った・参加した (ナンパ含む) 5.0%	職場の上司・ 同僚からの紹介 4.5%
50代前半 (n=968)	職場で知り合った 37.7%	友人からの紹介 21.0%	学生時代 (クラス・サークル等) の知人関係 13.6%	親・親せき からの紹介、 お見合い 各5.4%	独身の異性がいる場所 へ行った・参加した (ナンパ含む) 4.3%

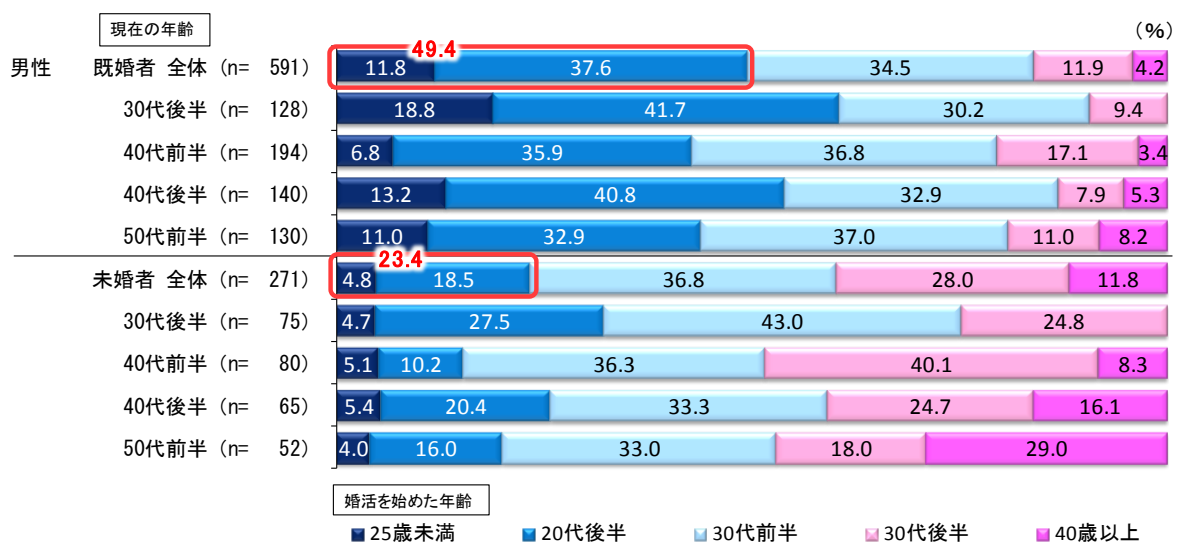
➤ 婚活を始めるのは早いほうが結婚につながる？

既婚の男性5割・女性7割が30歳までに婚活をスタート

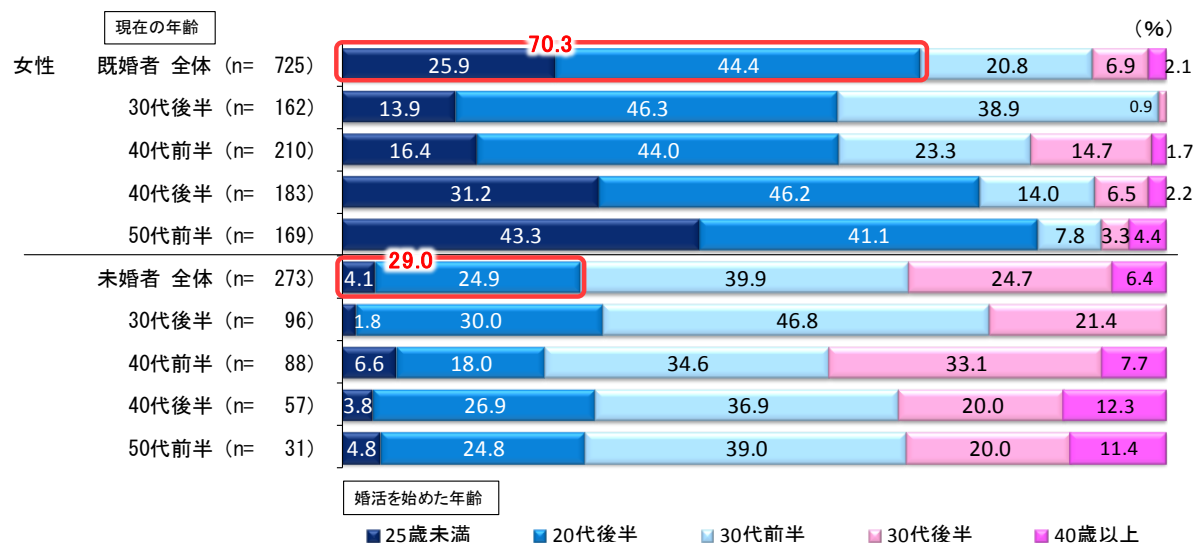
婚活経験のある35～54歳の人に対し、婚活を何歳くらいのときに始めたかたずねたところ、未婚者よりも既婚者のほうが、若い頃から婚活を始めていたことがわかりました。既婚男性の場合、30歳までに婚活を始めた割合は約5割を占めています（「25歳未満」11.8%・「20代後半」37.6%）。一方、未婚男性の場合、30歳までに婚活を始めた割合は約2割にとどまっています（「25歳未満」4.8%・「20代後半」18.5%）（図表16）。

女性も同様の傾向が見られ、既婚女性の場合、30歳までに婚活を始めた割合は約7割を占めています（「25歳未満」25.9%・「20代後半」44.4%）が、未婚女性の場合、30歳までに婚活を始めた割合は約3割にとどまっています（「25歳未満」4.1%・「20代後半」24.9%）（図表17）。

図表16 婚活を何歳くらいのときに始めたか（婚活経験のある35～54歳の男性：未既婚別）



図表17 婚活を何歳くらいのときに始めたか（婚活経験のある35～54歳女性：未既婚別）



Ⅲ. 結婚に対する理想と条件

1. 結婚に対する気持ち

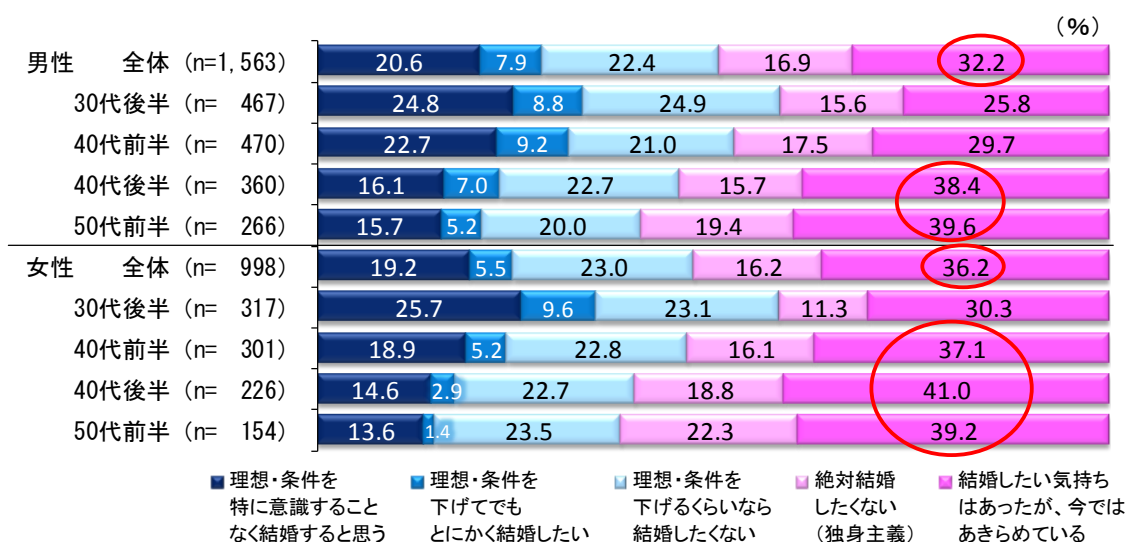
◎ 結婚をあきらめているのは、
40代後半以上の男性の4割・40代前半以上の女性の4割

➤ 男性は45歳・女性は40歳前後を境に結婚をあきらめることが多い？

35～54歳の未婚者に対して、結婚に対する気持ちをたずねたところ、「結婚したい気持ちはあったが、今ではあきらめている」の割合が、男性32.2%・女性36.2%と最も高くなりました。これを年齢層別に見ると、男性は40代後半以上、女性は40代前半以上で約4割を占めています。40代前半では女性は37.1%で男性の29.7%より7.4ポイント高く、男女差が最も大きくなっています。

また、女性の場合、年齢が高いほど「絶対結婚したくない（独身主義）」の割合は高く、50代前半は22.3%で30代後半の11.3%より11.0ポイント高くなっています（図表18）。

図表18 結婚に対する気持ち（35～54歳の未婚者）



2. 結婚への理想・条件

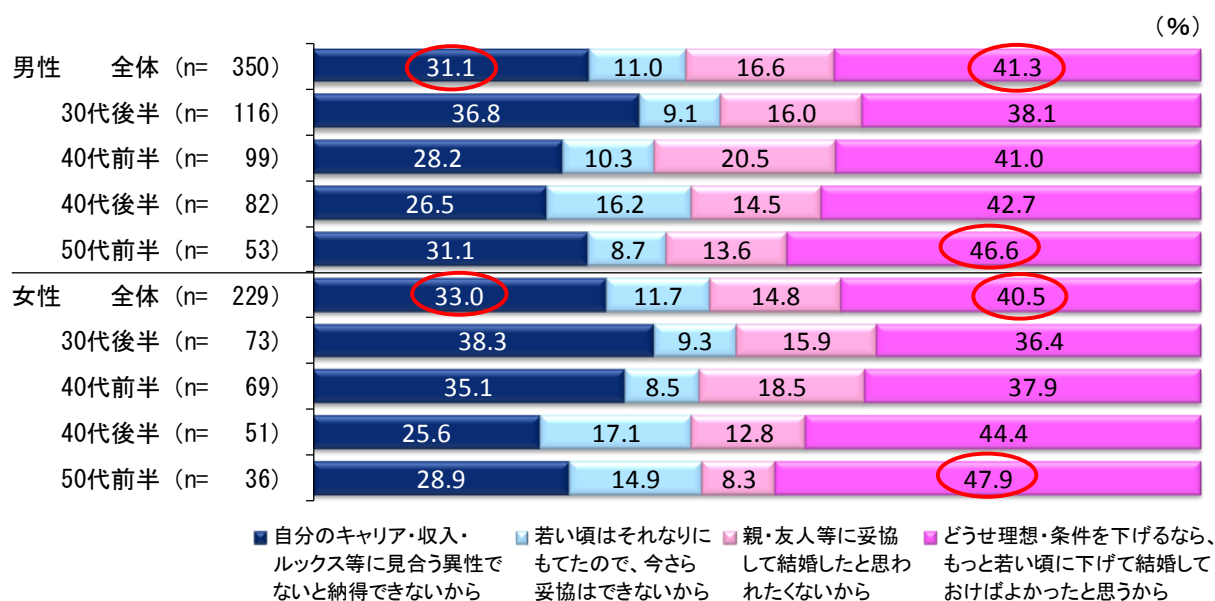
- ◎ 理想・条件を下げるくらいなら結婚したくない理由
「どうせ下げるくらいなら、もっと若い頃に」 4割
「自分に見合う異性でないと納得できないから」 3割
- ◎ 「理想・条件を下げてでもとにかく結婚したい人」が、下げておくべきだったと考える年齢
男性 30代前半・女性 20代後半～30代前半

➤ 理想・条件を下げるくらいなら結婚しない理由

「理想・条件を下げるくらいなら結婚したくない」と回答した 35～54 歳の未婚者に対して、その理由をたずねたところ、「どうせ理想・条件を下げるなら、もっと若い頃に下げて結婚しておけばよかったと思うから」が男女とも約 4 割で最も高くなりました。年齢層が高いほどその割合は高くなっており、50 代前半では、男性 46.6%・女性 47.9%と約 5 割となっています。

次いで、男女とも「自分のキャリア・収入・ルックス等に見合う異性でないと納得できないから」が約 3 割と続きます（図表 19）。

図表 19 理想・条件を下げるくらいなら結婚しない理由（理想・条件を下げるくらいなら結婚したくない 35～54 歳の未婚者）

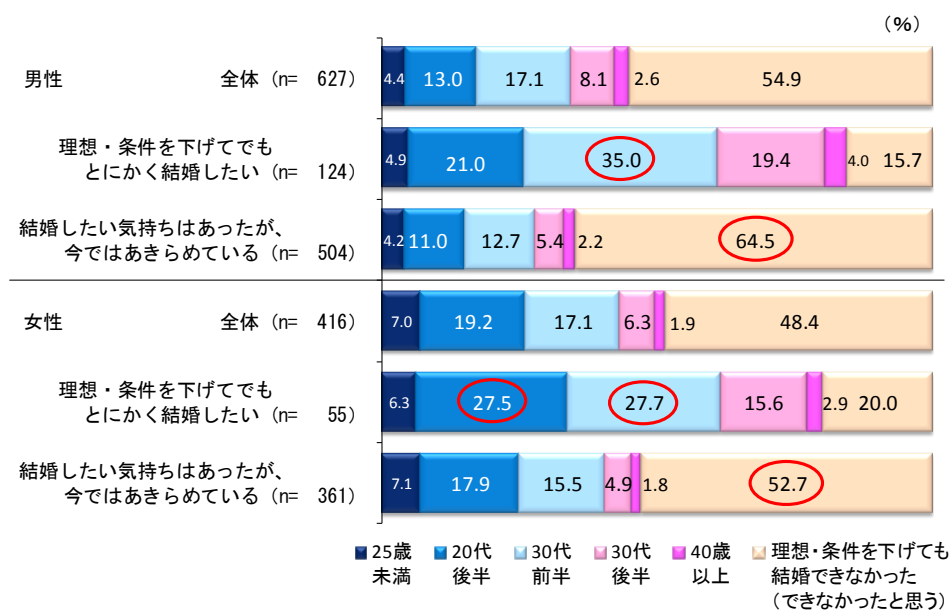


➤ 理想・条件を下げておくべきだったと考える年齢

35～54歳の未婚者に対して、何歳頃に理想・条件を下げておくべきだったかたずねたところ、「理想や条件を下げてでもとにかく結婚したい」人は、男女とも「30代前半」と回答した割合が最も高く、女性は「20代後半」と回答した割合も「30代前半」とほぼ同水準でした。

また、「結婚したい気持ちはあったが、今ではあきらめている」人は、「理想・条件を下げてでも結婚できなかった（できなかったと思う）」と考えている人の割合が男女とも最も高くなっています（男性64.5％・女性52.7％）（図表20）。

図表20 何歳頃に理想・条件を下げておくべきだったと考えているか
（35～54歳の未婚者：結婚に対する気持ち別）



3. 結婚相手として希望する相手の年齢

◎ 男性は自分よりも年下の結婚相手を希望、
女性の5～6割は自分と同年齢層を希望

➤ 結婚相手として希望する相手の年齢

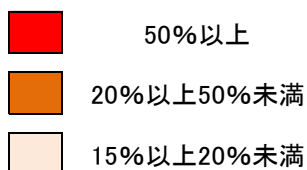
35～54歳の未婚者に対して、結婚相手として希望する相手の年齢をたずねたところ、男性は自分よりも年下を希望する割合が各年齢層で高くなっています。

一方で、女性は、自分の同年齢層を希望する割合が各年齢層で半数を超えており、やや年上が続きます。結婚相手として希望する相手の年齢には、男女間で意識の差があるようです（図表21）。

図表21 結婚相手として希望する年齢（35～54歳の未婚者）

(%)

		結婚相手として希望する異性の年齢別割合							
		25歳未満	20代後半	30代前半	30代後半	40代前半	40代後半	50代前半	55歳以上
男性	30代後半 (n=467)	7.2	27.6	37.2	24.3	2.8	0.6	0.1	0.1
	40代前半 (n=470)	6.3	15.1	31.5	27.5	16.8	1.8	0.6	0.3
	40代後半 (n=360)	4.5	9.9	28.0	29.9	16.5	10.1	0.8	0.4
	50代前半 (n=266)	6.0	5.6	16.9	21.7	23.1	15.5	10.5	0.6
女性	30代後半 (n=317)	0.1	1.2	5.9	57.3	27.9	5.6	0.9	1.1
	40代前半 (n=301)	0.2	0.4	1.9	12.5	51.2	28.4	4.1	1.2
	40代後半 (n=226)	0.2	0.0	2.3	4.9	10.5	56.7	19.2	6.2
	50代前半 (n=154)	0.2	0.4	1.0	1.6	5.8	16.3	55.7	19.0



4. 結婚相手に求める年齢以外の外面的条件

◎ 未婚者が結婚相手に求める外面的条件 ～30 歳当時と現在の理想の比較～
男性は「ルックス・見た目の印象」：30 歳当時は6割、現在は5割
女性は「収入等の経済力」：30 歳当時も現在も7割

➤ 結婚相手に求めている外面的条件

35～54 歳の男女に対して未既婚別に、結婚相手に求める年齢以外の外面的条件について、30 歳当時と現在の意識をたずねました（30 歳当時既に結婚していた人は、結婚前の意識について回答。既婚者の現在の意識については、今から思うと何を重視しておけばよかったかという観点で回答）。

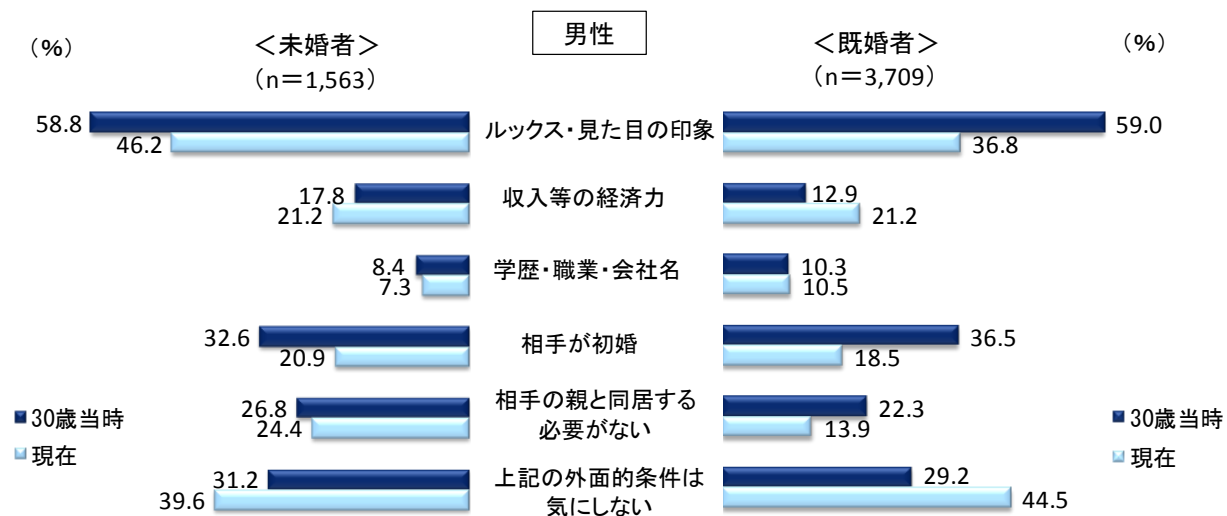
男性の 30 歳当時の意識で、最も高くなったのは「ルックス・見た目の印象」で、未婚者 58.8%・既婚者 59.0%と約 6 割を占めています。一方、現在の意識で「ルックス・見た目の印象」と回答したのは未婚者 46.2%・既婚者 36.8%と、30 歳当時の意識より低く、未婚者 12.6 ポイント、既婚者で 22.2 ポイント低くなっています。また、「相手が初婚」についても、現在の意識は 30 歳当時の意識より未婚者で 11.7 ポイント、既婚者で 18.0 ポイント低くなっています。なお、「上記の外面的条件は気にしない」は 30 歳当時の意識よりも現在の意識のほうが高くなっています（図表 22）。

次に女性の場合、「収入等の経済力」が未婚・既婚、30 歳当時・現在のすべての場合で約 7 割と最も高くなっています。また「相手の親と同居する必要がある」は既婚者が約 4 割で未婚者の約 5 割より低くなっています。一方で、「学歴・職業・会社名」は、既婚者が約 3 割で未婚者の約 2 割よりも高くなっています。また「ルックス・見た目の印象」は男性同様、現在の意識が 30 歳当時の意識よりも低く、特に既婚者では 27.0 ポイント低くなりました（図表 23）。

男女別に見ると、男性は女性より「相手が初婚」「上記の外面的条件は気にしない」の割合が高く、一方で女性では「収入等の経済力」「学歴・職業・会社名」「相手の親と同居する必要がある」が男性よりも高くなっているなど、男女の意識の違いがうかがえます。

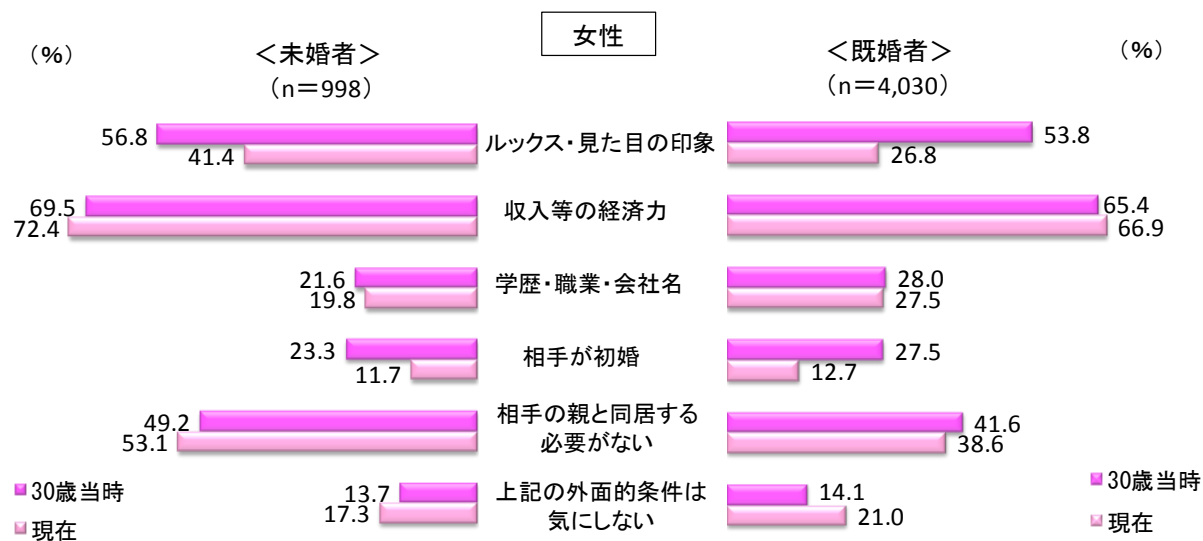
図表 22 結婚相手に求める年齢以外の外面的条件〈30 歳当時と現在〉

(35～54 歳男性：未既婚別：複数回答)



図表 23 結婚相手に求める年齢以外の外面的条件〈30 歳当時と現在〉

(35～54 歳女性：未既婚別：複数回答)

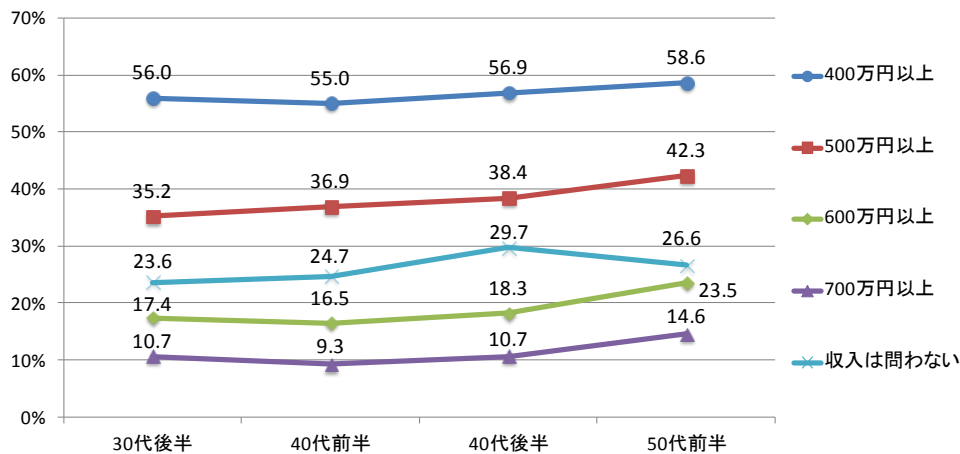


◎ 女性が結婚相手に求める年収 ～30 歳当時と現在の理想の比較～
30 歳当時よりも現在のほうが「400 万円以上」の希望は多い

➤ 30 歳当時、結婚相手に希望していた年収

35～54 歳の未婚女性に対して、30 歳当時、結婚相手の年収としてどのくらいの水準を希望していたかをたずねたところ、各年齢層で「400 万円以上」は約 6 割、「500 万円以上」は約 4 割、「600 万円以上」は約 2 割、「700 万円以上」は約 1 割でした（図表 24）。

図表 24 30 歳当時に希望していた結婚相手の年収水準（35～54 歳の未婚女性）

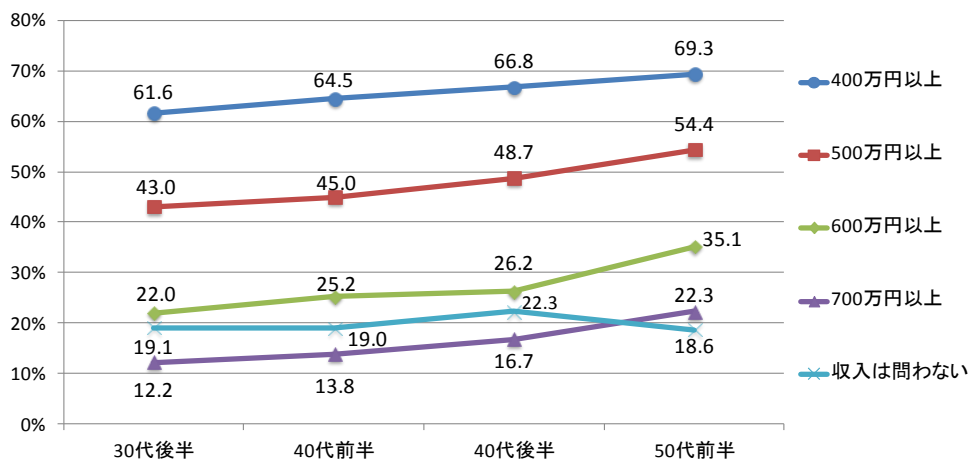


➤ 現在、結婚相手に希望する年収

また、35～54 歳の未婚女性に対して、現在、結婚相手の年収としてどのくらいの水準を希望しているかをたずねたところ、30 歳当時よりも現在のほうが、各年齢層で希望年収水準は高く「収入は問わない」は低くなっていることがわかります。

なお、各希望年収水準において、年齢層が高いほどその割合も高くなっています。また、「収入は問わない」は各年齢層で約 2 割となっています（図表 25）。

図表 25 現在希望する結婚相手の年収水準（35～54 歳の未婚女性）



IV. 既婚者の考えた結婚の条件

1. 既婚者が最も妥協しなくなかった条件

◎ 結婚相手として最も妥協しなくなかった条件の1位は
男性は「ルックス・見た目」、女性は「収入等の経済力」

➤ 結婚相手に求める理想・条件のうち、最も妥協しなくなかった条件

35～54歳の既婚者で、「結婚しなかったので理想・条件を下げた」人に対して、最も妥協しなくなかった条件をたずねたところ、男性は「ルックス・見た目」が27.1%、女性は「収入等の経済力」が32.4%と最も高くなりました。次いで、男性は「一緒にいて楽しい」(8.2%)・「料理・家事が得意」(6.8%)、女性は「ルックス・見た目」(16.1%)・「話・価値観が合う」(6.4%)と続きます(図表26)。

図表26 最も妥協しなくなかった条件(上位5つ)(35～54歳の既婚者)(回答割合の多い順・上位)

男性 (n=362)	ルックス・見た目 27.1%	一緒にいて楽しい 8.2%	料理・家事が得意 6.8%	話・価値観が合う 6.6%	収入等の経済力 6.6%
女性 (n=616)	収入等の経済力 32.4%	ルックス・見た目 16.1%	話・価値観が合う 6.4%	相手の親との同居の可能性 5.7%	学歴・職業・会社名 5.7%

2. 理想・条件を下げた年齢と後悔の有無

◎ 結婚相手に求める理想・条件を下げた年齢

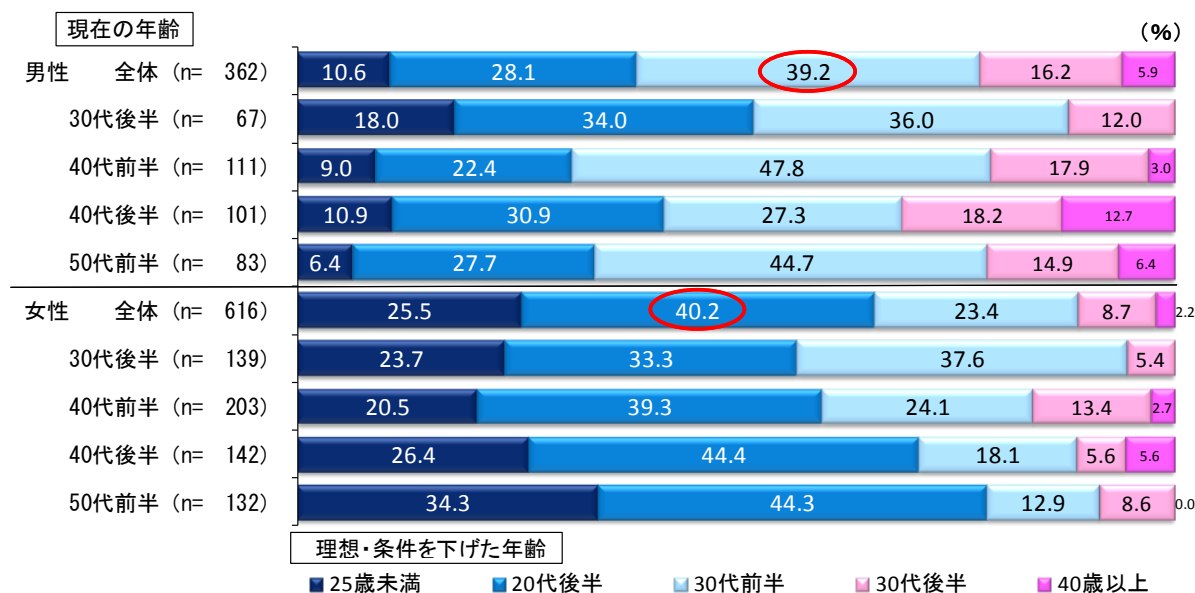
男性 4 割が「30 代前半」、女性 4 割が「20 代後半」

◎ 理想・条件を下げたことで後悔している 50 代前半は、男性 4 割・女性 6 割

➤ 結婚相手に求める理想・条件を下げた年齢

「結婚しなかったのが理想・条件を下げた」35～54 歳の既婚者に対して、何歳くらいのときに結婚相手に求める理想・条件を下げたかたずねたところ、男性は「30 代前半」（39.2%）、女性は「20 代後半」（40.2%）が最も高くなりました。全体として、男性よりも女性のほうが、理想・条件を下げる時期は早いようです（図表 27）。

図表 27 何歳くらいのときに結婚相手に求める理想・条件を下げたか（結婚しなかったために理想・条件を下げた 35～54 歳の既婚者）



➤ **理想・条件を下げたことを後悔しているか**

35～54 歳の既婚者で、「結婚しなかったので理想・条件を下げた」人に対して、結婚相手に求める理想・条件を下げたことを後悔しているかどうかたずねたところ、「どちらかと言えば後悔している」は、男性約 5 割・女性約 6 割で女性のほうが高くなっています。特に 50 代前半では、女性は 60.0%と男性の 40.4%より 19.6 ポイント高くなりました（図表 28）。

図表 28 結婚相手に求める理想・条件を下げたことを後悔しているかどうか（結婚しなかったので理想・条件を下げた 35～54 歳の既婚者）

